

		1884	NED*第1分冊刊行開始 *第3巻からOED
		1888	NED第1巻 (A-B) 刊行
		1889	上田万年「日本大辞書編纂に就きて」
		1889-91	大槻文彦『言海』約4万語 (全4冊)
1892	松井簡治、学習院教授就任。文献資料の収集開始。		
1898	「国書の索引」 (『國學院雑誌』)		
1903	原稿執筆開始	1907	金沢庄三郎『辞林』約8万2千語 (全1冊)
1915-19	松井簡治『大日本国語辞典』約20万語 (全4巻)	1925	金沢庄三郎『広辞林』約10万語 (全1冊)
1928	『大日本国語辞典』 (修正版・全4巻+索引1巻)	1928	OED全10巻完結
		1932-37	『大言海』約8万語 (全5冊)
1939-41	『大日本国語辞典』 (修訂版・全5巻) 増補版2冊構想	1934-36	『大辞典』約70万語 (全26巻)
1940	中辞典『辞鏡』構想	1935	新村出『辞苑』約16万語 (全1冊)
1957	『修訂大日本国語辞典』 (新装版・全1巻)	1955	新村出『広辞苑』約20万語 (全1冊)
1960	小学館から増補カード8万枚を生かさないかとの相談。		
1961	第一回準備会議 中村通夫・林大・三谷栄一・山田巖		
1964	編集委員会が正式に発足。小学館が企画推進を正式に表明。		
1971	「日本大辞典刊行会」発足。		
1972-76	『日本国語大辞典』約45万語 (全20巻) 刊行	1972-86	OED補遺版 (全4巻)
1979-81	『日本国語大辞典』同 (縮刷版・全10巻) 刊行		
1981	『国語大辞典』約25万語 (全一冊) 刊行		
1982	『故事俗信ことわざ大辞典』約4万3千項目 (全1冊)		
1986	『言泉』約15万語 (全一冊)	1987	CD-ROM版『広辞苑第三版』
1989	『日本方言大辞典』約21万項目 (全3巻)	1988	三省堂『大辞林』約20数万語 (全1冊)
1990	『日本国語大辞典 第2版』編集委員会発足	1989	OED全20巻刊行
		1989	講談社『日本語大辞典』約20数万語 (全1冊)
		1995	小学館『大辞泉』約20数万語 (全1冊)
2000-2001	『日本国語大辞典 第2版』約50万語 (全13巻) 刊行	1995	Windows95発売
2005-2006	『精選版日本国語大辞典』約30万語 (全3巻)	2001	グーグル日本法人設立 電子辞書ブーム
2007	『日本国語大辞典 第2版』オンライン版リリース!	2007	iPhone発売 アプリ開発